

2012.10.3 Wed.  
14:00~16:30

幕張メッセ  
国際会議場 2階  
コンベンションホールA

# JIPDEC フォーラム

## これからの情報の保護と利用の グランドデザインを考える

ITの進展により、ネット上の行動に加え、実社会での社会活動で発生するさまざまな情報がリアルタイムに収集・集積されるようになりました。そして、これらの情報を利用することで、利用者にとってより満足感を得られるサービスを提供したり、経済活動や生活に新たな息吹を吹き込むような新たな価値が創造される、そんな“情報の好循環”が、社会の中に生まれつつあります。

このような社会では、従来の枠組みを越えた異業種の事業提携や情報連携をも見据えた「情報による価値創造」の仕組みをデザインすることが重要です。そして、その仕組みが社会の中で有効に機能するには、わたしたちが生み出す情報の“保護”と“利用”双方のあり方を常に模索し続ける必要があります。

本フォーラムでは、それぞれのプログラムを通して、これからの“情報”の可能性や、その可能性を最大限に引き出すために必要な課題について考えてまいります。

### ●プログラム

14:00 主催者あいさつ

JIPDEC 常務理事 泉 和夫

14:05 “Join & Share”で創るこれからの天気予報

株式会社ウェザーニューズ  
トランスメディアコンテンツ事業部  
マーケティンググループ

ウェザーリポーターという集合知によって、予測は“不可能”と言われたゲリラ雷雨予測が“可能”となりました。様々な事例を通して、気象情報が単なるデータの世界から、サービス、コミュニティのレイヤーへパラダイムシフトする過程や戦略についてお話いただきます。

グループリーダー 大木 雄治氏

14:45 書店は電子書籍時代にどう対応しようとしているのか

丸善 CHI ホールディングス株式会社

代表取締役社長 小城 武彦氏

「honto」事業を始めとする新ビジネスモデル構築の取り組みの経緯と今後の展望等についてご講演いただきます。

15:25 休憩

15:30 鼎談：情報の保護と利用のグランドデザインを考える

株式会社情報通信総合研究所  
法制度研究グループ部長

主席研究員 小向 太郎氏

情報が持つ可能性と、情報の価値創造を促すために検討すべき課題、利用と保護のあるべき姿等について、鼎談形式で議論を行います。

株式会社日経 BP

「日経コミュニケーション」

編集長 河井 保博氏

JIPDEC

常務理事 小林 正彦

16:30 終了 (展示会場は17:00までご覧いただけます。JIPDECブース 小間番号 3B55)

お申し込みは [www.ceatec.com](http://www.ceatec.com)

CEATEC JAPAN 2012公式サイト コンファレンス聴講予約よりお申込みください。

開催日別：10月3日(水) トラック別：スペシャルセッション (SP-07)

一般財団法人 日本情報経済社会推進協会

<http://www.jipdec.or.jp/>

**JIPDEC**

## ● 講師プロフィール



株式会社ウェザーニューズ  
トランスメディアコンテンツ事業部  
マーケティンググループ  
グループリーダー 大木 雄治氏

1990年、(株)ウェザーニューズに入社。メディア事業部に所属し、主に放送局向けのサービス企画と営業に従事。2006年、個人向けサービス事業部のマーケティング&セールス部門に異動。以降、携帯事業から放送局向けサービスまでを担うトランスメディア事業部門のマーケティングを統括。



丸善 CHI ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 小城 武彦氏

1984年東京大学法学部卒業後、同年、通商産業省(現経済産業省)入省。ベンチャー支援政策、エレクトロニクス産業政策の企画立案を担当。89年米国留学し、91年プリンストン大学ウッドローウィルソン大学院卒。97年6月退省。同年7月カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)入社、代表取締役常務を務める。『TSUTAYA Online』を立ち上げ、社長を兼務。その後、(株)産業再生機構、カネボウ(株)代表執行役を経て2007年1月丸善(株)顧問、同年4月から2011年4月まで代表取締役社長を務める。2010年2月CHIグループ(株)(現丸善CHIホールディングス(株))代表取締役社長(現任)、同年12月より(株)トゥ・ディファクト代表取締役社長(現任)。



株式会社情報通信総合研究所  
法制度研究グループ部長  
主席研究員 小向 太郎氏

1987年早稲田大学政経学部卒業、中央大学博士(法学)。1990年代初頭から、現勤務先において情報化の発展によって生じる法制度的問題を研究しており、2009年10月より現職。主著に『情報法入門(第2版)-デジタル・ネットワークの法律』(2011年、NTT出版)、『プライバシー・個人情報保護の新課題』(共著、2010年、商事法務)等。早稲田大学客員准教授。



株式会社日経BP  
「日経コミュニケーション」  
編集長 河井 保博氏

1991年大学院修士課程修了後、(株)日経BP社に入社。日経コミュニケーションにて、主にLAN/WANのデータ通信、セキュリティ分野について取材・執筆。その後、日経インターネットテクノロジー、日経コンピュータを経て、2006年に日経コミュニケーション副編集長。2010年1月、日経コミュニケーション編集長(現職)。



JIPDEC  
常務理事 小林 正彦

1979年 東京大学工学部卒業後、同年、通商産業省(現経済産業省)に入省。IPAセキュリティセンター長、内閣官房情報セキュリティセンター内閣参事官としてセキュリティ関連施策に携わる。2007年より JIPDEC 常務理事として ISMS 制度の運営等を担当する一方、電子情報を安心・安全に利用するための「安信簡情報環境」構想を提唱し、JCAN 証明書等のサービス開発を指揮。

## ● JIPDEC とは

電子情報利活用基盤の整備

安信簡情報環境の整備

電子情報の利活用のための登録管理

個人情報保護体制の推進

## 情報の保護と利用のグランドデザインを提案

JIPDEC は、電子情報が持つ経済的な価値に着目し、安全な活用を推進することで、イノベーション創出による豊かな社会づくりに貢献することを目的に、プライバシーマーク制度や ISMS・ITSMS・BCMS 適合性評価制度の運用を行うとともに、

- ビジネスに利用できる安価なパブリック証明書  
「JCAN 証明書」
- 電子的割符を使ったデータの分散保管サービス  
「J2ET エスクローサービス」

等のソリューションをご提供しています。

CEATEC JAPAN 2012

Hall3 JIPDEC ブース (小間番号 3B55) で  
詳細をご紹介します。

併せてのご来場をお待ちしております!

# JIPDEC